けやき

令 和 ３ 年 度
学校評価（中間報告号）
NO. 535
練馬区立南が丘小学校
校 長　後藤 京子

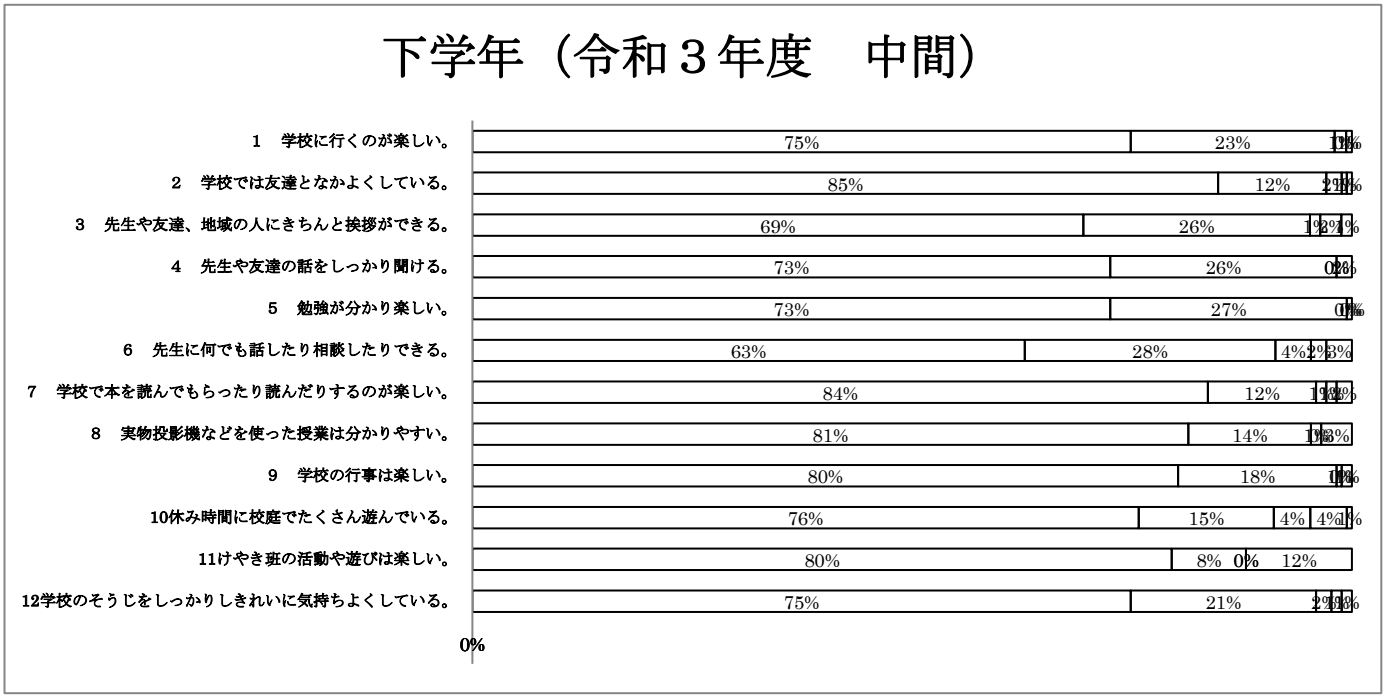
地域、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本年度の教育活動につきましてアンケートのご協力をお願いいたしましたところ、多くの声をいただくことができました。ありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を、今年度後半や次年度の教育計画に生かしてまいります。

これからも、様々な面で、地域、保護者の皆様のお力添えが必要となりますので、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

結果のグラフは、左より 思う まあまあ思う あまり思わない 思わない 分からない です。

１ 下学年児童（177名）アンケート結果



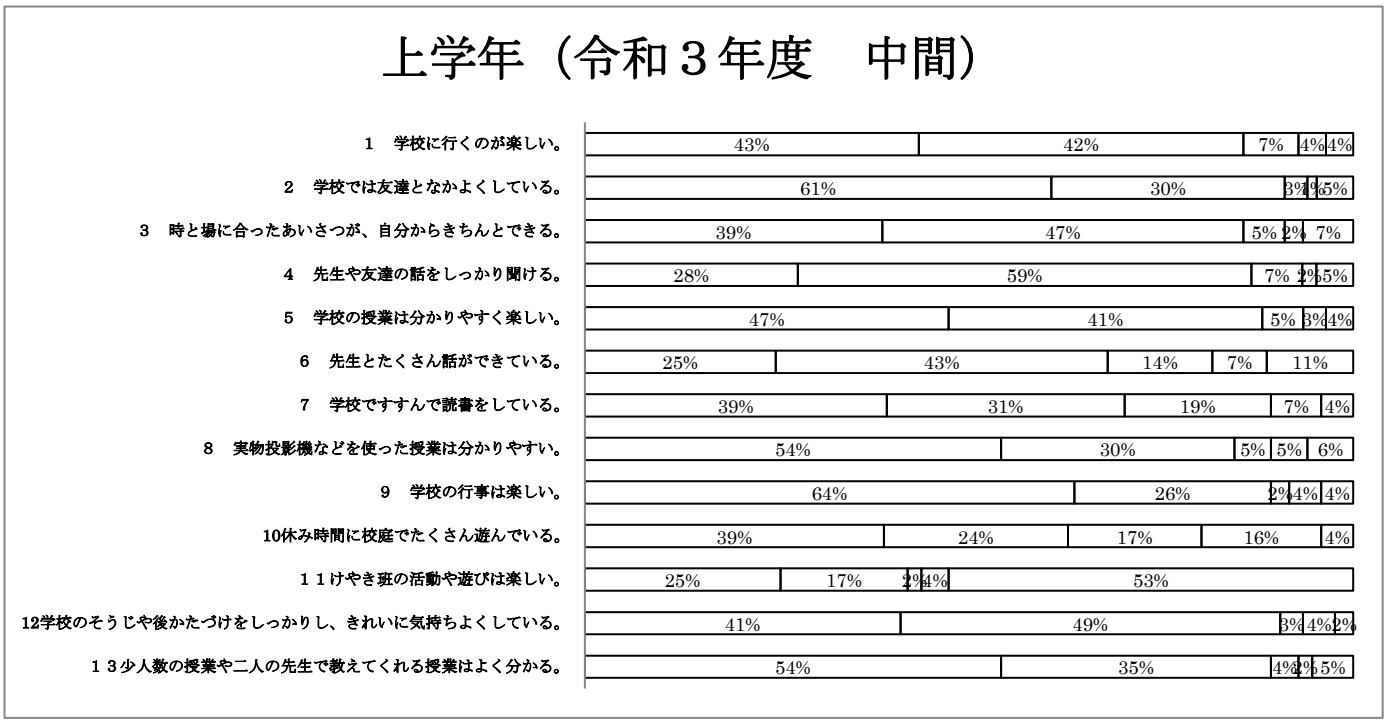
１２項目中１１項目で「思う」「まあまあ思う」を合わせた肯定的な回答が約９０％以上、９項目で９５％以上でした。また、これらの項目は昨年度の結果に比べ、肯定的な回答のポイントが８％前後上がっています。このことから、下学年の子供たちは良好な状態で学校生活を送っているととらえられます。

その中の「５．勉強が分かり楽しい」「４．先生や友達の話をしっかり聞ける」「２．学校では友達となかよくしている」は、話をきちんと聞けることと友達と上手にかかわることができていることの表れではないかと考えます。また、「９．学校の行事は楽しい」は、一つの目標に向けて努力することが楽しいと児童が感じていることは教職員にとってとてもうれしいことです。保護者の皆様にご協力をいただきながら実施でき、感謝しております。

「７．学校で本を読んでもらったり読んだりするのが楽しい」もポイントが上がりました。子供たちが、本に親しんでいくことができるよう、さらに工夫していきたいと思います。

コロナ渦ではありますが、感染症予防を考慮しながら可能な活動をしてきたことがこのような結果になったのではないかと考えます。

２ 上学年児童（185名）アンケート結果



肯定的な回答が８５％以上だったのは１３項目中８項目でした。

その中で、９０％を上回った項目は「１３．少人数の授業や二人の先生で教えてくれる授業はよく分かる」「２．学校では友達となかよくしている」「９．学校の行事は楽しい」「１２．学校のそうじや後かたづけをしっかりし、きれいに気持ちよくしている」でした。「９」については、昨年度よりポイントが大きく上がりました。下学年と同様、目標に向かって努力することに充実感や達成感を感じられたのではないかと考えます。子供たち一人一人の成長につながってほしいと思っています。「１２」については、きれいにした後の達成感を味わい、当番の友達たちと協力しながら活動をしていることがうかがえます。友達と上手にかかわりをもっている児童が多いことが伝わってきます。

他にも、「４．先生や友達の話をしっかり聞ける」、「５．学校の授業は分かりやすく楽しい」の項目も肯定的な回答の割合が増えました。友達や先生の話に耳を傾けたり、授業中は学習に集中したり、子供たちの安定した気持ちが感じられます。

肯定的な回答の割合が８０％未満だった項目は「１１．けやき班の活動や遊びは楽しい」「１０．休み時間に校庭でたくさん遊んでいる」「６．先生とたくさん話ができている」「７．学校ですすんで読書している」でした。

「１１」について感染防止のため、９月までは異学年交流がほとんど実施できなかった経緯がありました。しかし、１０月からはけやき班活動が再開し、交流学習も少しずつ始めています。また、「６」については、クラス替えをした学年は、話しやすい関係を担任と築くまでには少し時間を要していることなども原因になっているように思われます。子供たちが担任や教員にちょっとしたことでも話したり相談したりしやすくなるようなつながりを築けるよう、教員は努めていかなければなりません。

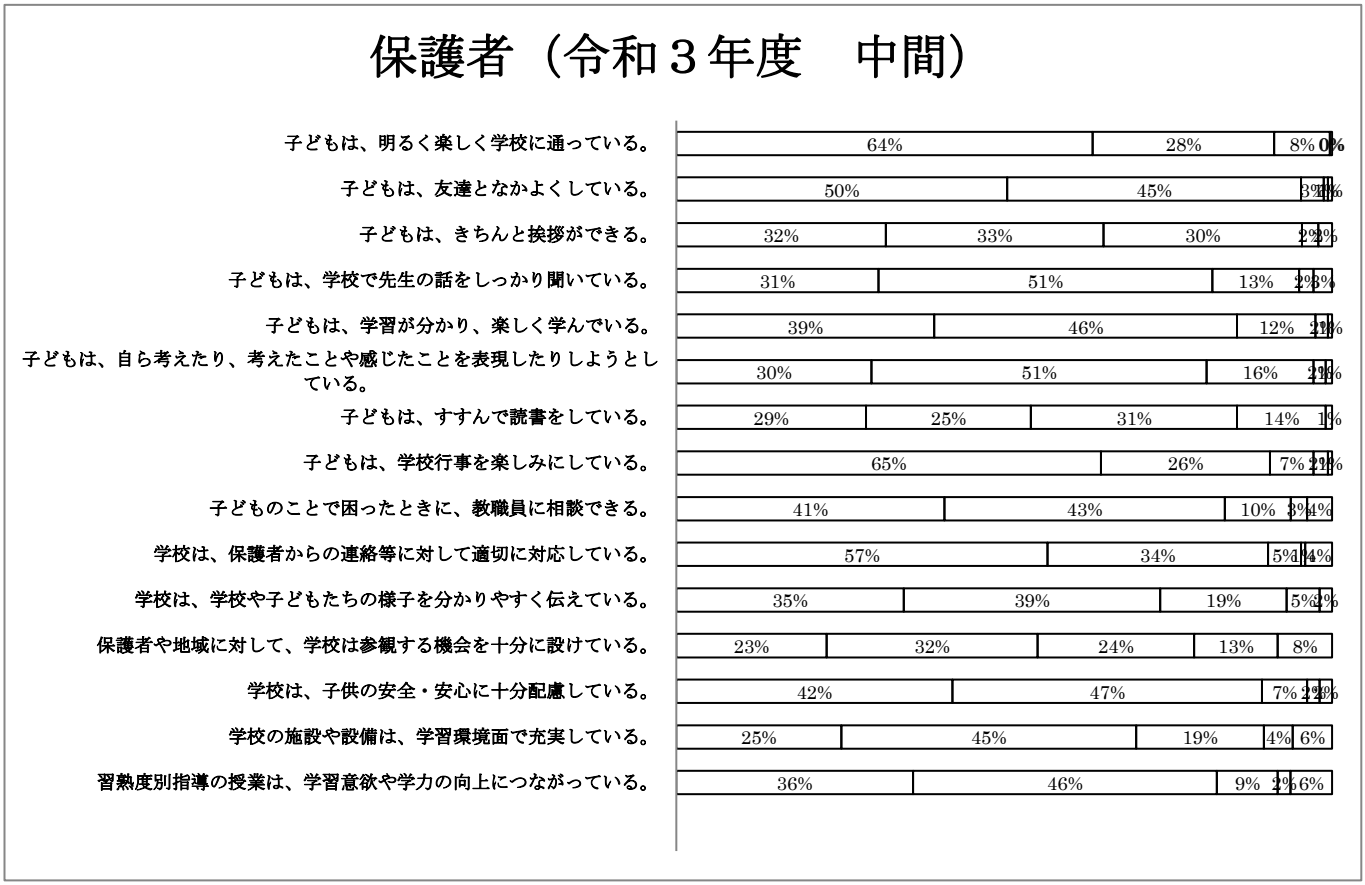
今後もしばらくは何かと制限がかかることが予想されます。学習面・生活面ともに、子供たちにとってよりよい環境づくりができるよう、様々工夫をしてまいります。

「３．あいさつ」については、本校の課題です。「すすんであいさつしている」と意識している児童の割合が低く、子供たちも自覚しているようです。保護者、地域アンケートの結果からも、低調な挨拶の実態について問題を感じられていることが分かります。それと合わせて、子供たちの「返事」も同様です。どちらも大切なのは「相手意識」です。相手とつながろうとする意識をもてるように取り組んでいきます。そのすることで、本校の子供たち持ち前の「素直さ」がもっと発揮でき、より伸びかに成長

できるのではないかと期待しています。

3　保護者（269名回答）アンケート結果

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
学年人数（人） （アンケート時）	64	59	54	65	56	64
回収人数（人）	58	55	52	52	46	55



肯定的な回答が９０％以上は１２項目中３項目、８０％以上は９項目でした。本年度は昨年度に比べ評価が上がりました。

昨年度に比べて評価が上がったのは、「学校の施設や設備は、学習環境面で充実している」「子どものことで困ったときに、教職員に相談できる」「子どもは、学校で先生の話をしっかり聞いている」の項目でした。

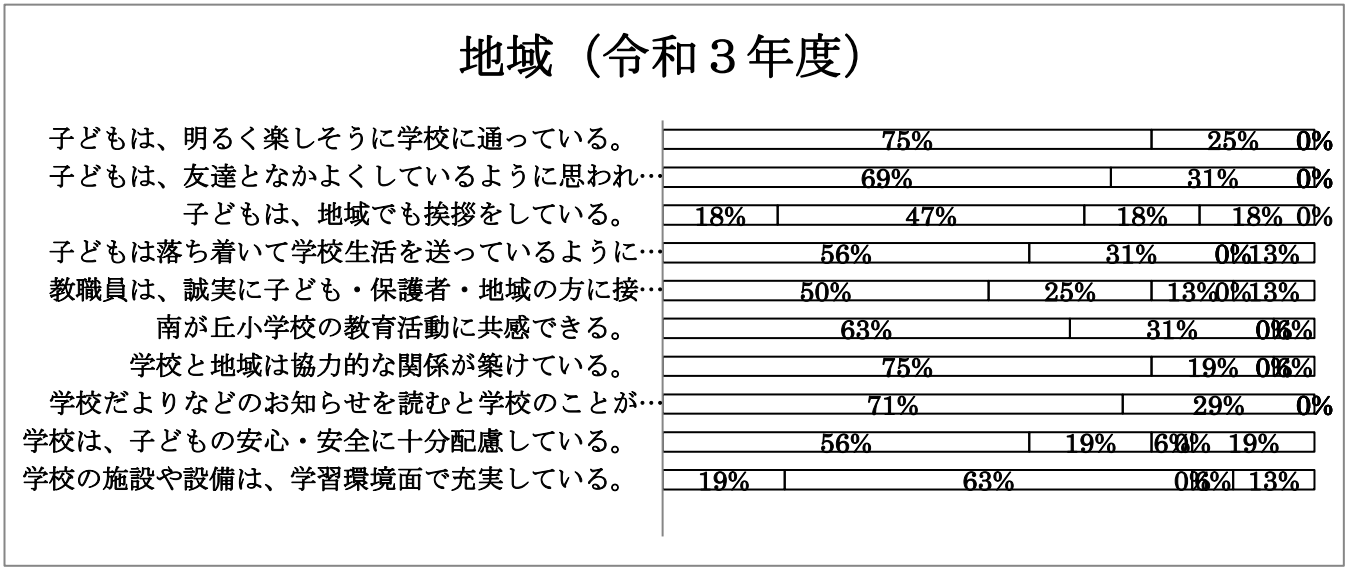
評価が下がった項目は、「子どもは明るく楽しく学校に通っている」「子どもは学習が分かり、楽しく学んでいる」「学校は保護者からの連絡等に対して適切に対応している」「学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている」でした。今年度も、昨年度に引き続き、コロナ渦、緊急事態宣言の延長という中で、大きく教育活動を削減・変更せざるを得ない状況が続いていたため、保護者が授業を参観する機会を設けることができず、「学校の様子が分からない」「知りたい情報が伝わってこない」という記述を多くいただいております。

２学期に入り、ようやく緊急事態宣言が解除され、１０月の第２土曜日には、各学年１組の道徳授業公開講座を公開し、月末には運動会、１１月には２組の道徳授業地区公開講座を参観していただきました。これからも、感染状況の動向を見つつ、練馬区のガイドラインに則りながら、工夫して公開してまいります。また、どの学年も様々な制限のある中でできることを工夫して行い、学級だよりやホームページなどを通して、様子を伝えようとしています。今後も学校や児童の様子を伝えられるよう情報発信を心

掛けてまいります。

夏の個人面談は年に一回設定していますが、ご要望があればそれ以外でも面談の機会を作りますので遠慮なく声をおかけください。子供たちとはもちろんですが、保護者の皆様とも相談し合い、協力できるつながりを強くしていきたいと切に願っています。

4　地域　（16名回答）アンケート結果



肯定的な回答が９０％以上だった項目は、１０項目中５項目でした。

最も肯定的な回答の割合が低かったのは、「子どもは、地域でも挨拶をしている」の項目でした。教職員、保護者も課題と感じています。指導の改善、継続をしていきます。

「教職員は、誠実に子ども・保護者・地域の方に接している」については、感染症予防のため、行事が削減され、地域の方と顔を合わせる機会が減ったことが要因として考えられます。

今年度下半期も、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、充実した教育活動の実践を目指してまいります。